



まちづくりによる 介護予防

- 「武豊プロジェクト」の戦略から効果評価まで -

日時：2024年8月29日（木）

13:30～16:30（受付13:00）

場所：日本福祉大学名古屋キャンパス
南館 401

（名古屋市中区千代田5-22-35）

参加費：無料

主催：日本老年学的評価研究機構

協力：日本福祉大学健康社会研究センター

登壇者

近藤克則（千葉大学予防医学センター健康街づくり共同研究部門 特任教授）

平井 寛（山梨大学大学院総合研究部生命環境学域 准教授）

竹田徳則（名古屋女子大学医療科学部 教授）

小林美紀（武豊町保険医療課 課長補佐）

平野知子（武豊町社会福祉協議会 事務局次長）

近藤尚己（京都大学大学院医学研究科社会疫学 教授）

2000年の介護保険制度開始から介護保険給付費は年々増え続け、2006年の改正で介護予防を重視したシステムが導入された。しかし、これは十分な効果をあげられなかった。国は2014年から「介護予防に資する住民主体の通いの場」事業の推進を始めた。

武豊町では2006年から、住民主体型の、住民の問題意識やアイデアを活かした事業を目指し、独自の介護予防事業「憩いのサロン事業」を立ち上げた。当時はまだ「高齢者の交流を促進する取り組み」が介護予防によいというエビデンスはなく、武豊町にとっても住民の主体性を引き出す仕掛けをすることは初めてのことであった。

武豊町役場職員、住民、研究者が迷い、不安を感じながら事業を進めた過程を紹介し「まちづくりによる介護予防」を考える。